

これからの未来を担う二十歳

平成30年 合志市成人式典

1月7日、菊南温泉ユウベールホテルで合志市成人式典を開催しました。ことは平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの443人が出席。友人や恩師とともに二十歳の門出を祝いました。成人式実行委員が企画した

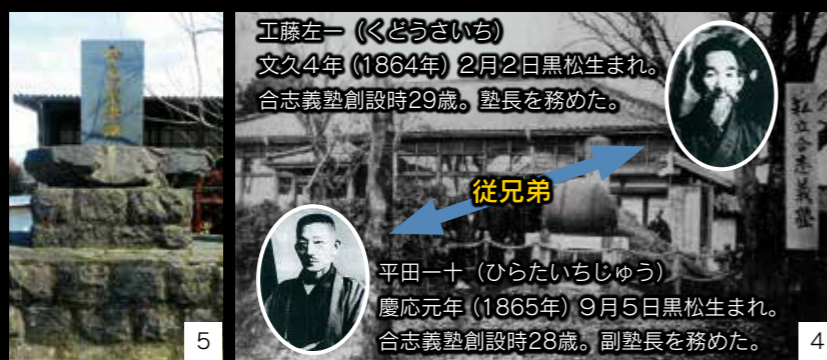


①誓いの言葉を述べる田尻真晃さん ②会場全体の様子 ③祝福のメッセージに耳を傾ける新成人たち ④アトラクションで感謝の想いを伝える新成人

ビデオ上映では懐かしい写真に笑みがこぼれ、恩師の登壇には会場が湧きました。旧友や恩師と再会し、終始盛り上がった成人式。新成人たちはそれぞれの決意を胸に、輝く未来への第一歩を踏み出しました。



合志義塾からまちの歴史を学びませんか



工藤左一 (くどうさいち)
文久4年(1864年)2月2日黒松生まれ。合志義塾創設時29歳。塾長を務めた。

平田一十 (ひらいちじゅう)
慶応元年(1865年)9月5日黒松生まれ。合志義塾創設時28歳。副塾長を務めた。

従兄弟



①ドラマの1シーン ②シンポジウムの様子 ③漫画「カタルバの樹」合志義塾ものがたり ④工藤左一と平田一十の写真 ⑤石碑横にあるカタルバの樹が黒松を見守ってきた

合志義塾のあゆみ

和暦	西暦	出来事
明治16	1883	左一、1月より弘生小学校(現高橋第一)となる。7月に徳富(蘇峰)の大江義塾に入学(同院解散の明治19年11月まで)
24	1891	3月22日、工藤左一、平田一十名で合志義塾設立認可申請を熊本県知事に提出。3月26日、合志義塾設立認可。4月5日、合志義塾開校。生徒25人(うち女子2人)。教室は工藤家の座敷8畳と2階16畳。
26	1893	隣接の山林・畑地を開墾して塾舎を建設。不息楼と名付ける。5月12日、開塾式。生徒86人。
25	1892	11月、天皇の熊本行幸の際、合志義塾に使節団が訪れる。
11	1931	4月1日、工藤左一塾長退任。平田(一十)の子息が塾長を継承。平田一十が副塾長を継承。
13	1938	3月27日、平田一十死去(満73才)。
17	1942	10月11日、義塾創立五十周年記念式挙行。知事代理など来賓。職員・塾生・同窓生など1000余人が出席。
24	1949	3月、戦後の学制改革で合志義塾閉塾(以後、入学生の募集停止)。
25	1950	3月24日、最後の中等科卒業式挙行。
29	1954	合志義塾高等国民学校設置。
30	1955	合志義塾高等国民学校開校。

参考文献
『合志義塾年表(工藤左一平田一十年譜)』(合志義塾、1991年所収)
『西志町史 通史編』(1995年、西志町)
『植民地学雑誌五十年記念号』(平田一十翁小伝) 昭和六十一年二月永原豊(平田(一十)翁私邸)版、1987年

10年後の自分へ

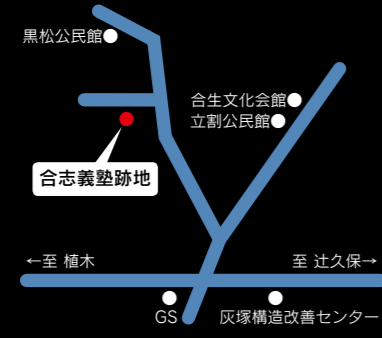
これからの合志市を担う新成人
一人一人が人生の主役・まちの主役です
その夢や目標、未来に向けたメッセージは
明るい希望に満ち溢れています



学びの礎を築いた合志義塾
昨年の10月29日、合志義塾を題材としたドキュメンタリードラマが放送されました。ドラマ放送のほかに9月20日〜11月29日まで「カタルバの樹」と合志義塾展」を開催。マンガ「カタルバの樹」の原稿や塾生のノートなど貴重な資料を一般公開し、当時、塾生がどのようなことを学び果立ったのか知るきっかけとなりました。

10月22日には「カタルバの樹」シンポジウムを開催しました。講演では宮本常一記念館学芸員の高木泰伸さんが「宮本常一が見た合志義塾」と題し、山口県周防大島出身の民俗学者である宮本常一が合志義塾を訪ねた当時の記録写真などを発表。今もなお資料が記念館に保管されています。熊本高専教授の伊藤利明さんによる講演も行なわれました。また、「風雲児たち」など多数のマンガを描いた、漫画家のみなもと太郎さんと合志マンガミュージアム

跡地を見学できます
ドラマや企画展を見たい人も地元での歴史に触れてみませんか。現在、合志義塾跡地周辺を整備し、公開しています。駐車場に車を停めて、歩いて石碑を見学してみてください。



問い合わせ先
生涯学習課
(御代志市民センター)
☎(242)11900